

2016年12月期

第2四半期決算説明会

2016年8月2日

荏原実業株式会社

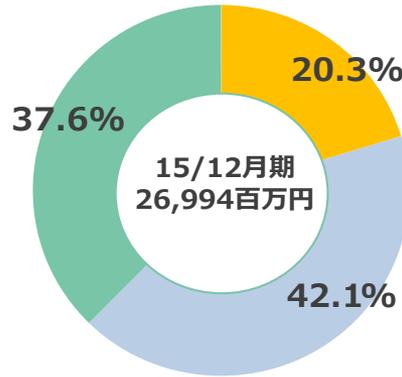


(参考) 事業概要

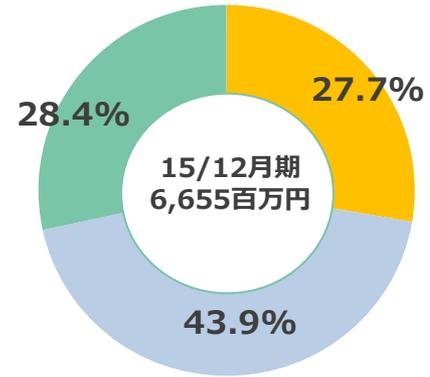
「3つの事業セグメント」



【売上高】
 ■ 環境関連 ■ 水処理関連 ■ 風水力冷熱機器等関連



【粗利益】
 ■ 環境関連 ■ 水処理関連 ■ 風水力冷熱機器等関連



環境関連（メーカー事業）

「計測」、「医療」、「省エネ・水資源」、「ボエフ脱臭」「水産」等の分野で、製品の開発から販売までを行う事業

自社製品を扱う最も注力している事業で、利益率が高い。粗利構成比50%を目指す。

水処理関連（エンジニアリング事業）

上下水道関連施設の設計・施工からメンテナンスまで、トータルサービスを展開している事業

官需中心に、更新需要が拡大。東北地域や西日本地域へ販売エリアを拡大。

風水力冷熱機器等関連（商社事業）

ポンプ、送風機、空調冷熱機器等の産業機械を、商業ビル等の各種建築物や製造工場等へ販売する事業

民間設備投資や五輪需要の盛り上がりに対応。主力商品のほか新規取扱商品にも注力。

(参考) 環境関連 (メーカー事業) 一覧表

カテゴリー	事業内容	主要販売先	製品例
計測分野	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 主に水処理で使われる計測器の開発及び販売 ★オゾン濃度計は国内トップシェア 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 公共施設 (高度処理浄水場、下水処理場) ◆ 民間工場 (半導体、液晶、食品等) 	 <p>高精度オゾンモニター</p>  <p>溶存オゾン濃度測定装置</p>
ボエフ脱臭分野	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 脱臭剤「ボエフ」ブランドを中心とした脱臭製品の開発及び販売 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 公共施設 (下水処理施設、農業集落排水処理施設) ◆ 民間工場 (食品、飲料等) ◆ 商業施設 (厨房除害設備) 	 <p>ボエフ脱臭剤</p>  <p>ボエフ脱臭塔</p>
省エネ・水資源分野	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 省エネブロワ、水処理プラント、水処理周辺機器の開発及び販売 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 公共施設 (下水処理施設、農業集落排水処理施設) ◆ 民間工場 (食品、飲料、製紙、化学) など 	 <p>省エネブロワ</p>  <p>バイオガス発電用生物脱硫装置</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 水産・養殖業向け水処理エンジニアリング ◆ 感染症対策、救急災害対策、医療関連機器等の開発及び販売 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 官公庁、食品会社 ◆ 医療機関、自治体、中央官庁など 	 <p>高効率ろ過器</p>  <p>海水殺菌装置</p>  <p>災害対策用エアテント</p>  <p>空気殺菌脱臭装置</p>

2016年12月期第2四半期 決算報告



売上高は計画を上回り増収も、大型工事での損失発生（1.5億円）

- ◆ 受注高・・・17億円減（前期比12.5%減）
- ◆ 売上高・・・6.5億円増（前期比4.3%増）
- ◆ 営業利益・・・1億円減（前期比7.7%減）

	15/12月期 第2Q		期初計画	16/12月期 第2Q		前年同期比	
	(単位：百万円)	構成比 (%)		構成比 (%)	増減率 (%)	増減額	
受注高	13,524	-	12,250	11,829	-	▲ 12.5	▲ 1,694
売上高	15,378	100.0	15,550	16,035	100.0	+ 4.3	+ 657
粗利益	3,885	25.3	3,750	3,861	24.1	▲ 0.6	▲ 23
販管費	2,547	16.6	2,730	2,626	16.4	+ 3.1	+ 80
営業利益	1,338	8.7	1,020	1,235	7.7	▲ 7.7	▲ 103
経常利益	1,408	9.2	1,070	1,299	8.1	▲ 7.7	▲ 109
四半期純利益	948	6.2	700	896	5.6	▲ 5.4	▲ 51

《第2Q決算の特徴》

当社グループは、受注高ならびに売上高に占める官公庁の割合が高いことから、第1～2Q期間に計上される売上高比率が高く、一方で販管費は年間を通じ均等に発生するため、利益がこの期間に偏るという特徴があります。

2016年12月期第2四半期 決算のポイント

受注高 前期比 $\Delta 17$ 億円($\Delta 12.5\%$)

- ◆ 上下水道分野において、採算性を重視し慎重な受注に努めた
- ◆ 民間設備投資に一服感が見られ、風水力関連や、省エネ・水資源分野が減少

売上高 前期比 $+6.5$ 億円($+4.3\%$)

- ◆ 期首受注残高が前期比で約4億円多かったことに加え、工事進捗が期首時点の想定を上回って推移し、増収

粗利益 前期比 $\Delta 0.2$ 億円($\Delta 0.6\%$)

- ◆ 社内の原価低減努力等に起因し、利益率は前期並の水準を維持するも、公共の水処理関連大型工事で1.5億円の損失が発生し、粗利益額が減少

販管費 前期比 $+0.8$ 億円($+3.1\%$)

- ◆ 人件費等が増加
- ◆ 期首時点で想定していた試験研究費増加(+1.1億円)の大部分は下期に計上予定

受注残高 前期比 $\Delta 20$ 億円($\Delta 13.2\%$)の132億円

- ◆ 売上の進捗が早かったことや、受注の遅れなどから減少も、下期での回復を見込む

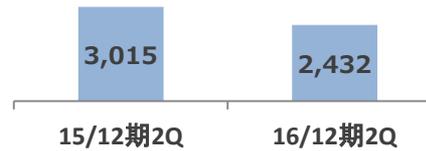
セグメント別 状況報告

環境関連

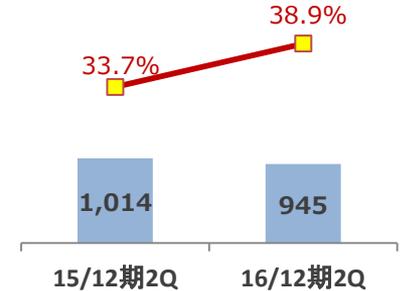
売上高 △5.8億円 粗利益 △0.7億円

- 売上高は、計測分野が堅調に推移したものの、脱臭、省エネ・水資源の分野で工事案件が減少し、減収
- 利益率の高い分野の販売比率が高まったことや、減少した工事案件が低利益率であったために、全体の利益率は改善も、利益額は減少

(百万円) 【売上高】(環境)



(百万円) 【粗利益】(環境)

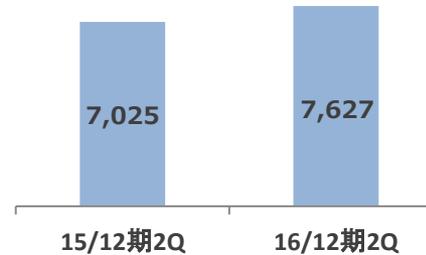


水処理関連

売上高 +6.0億円 粗利益 △0.7億円

- 売上高は、期首受注残高が約7億円多かったことが影響し、増収
- 公共大型工事で1.5億円の損失発生
- 損失案件を除けば、前期並みの利益率水準を維持

【売上高】(水処理)



【粗利益】(水処理)

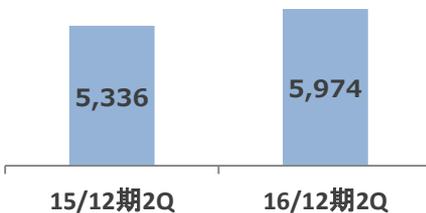


風水力冷熱機器等関連

売上高 +6.3億円 粗利益 +1.2億円

- 売上高、粗利益は、期首受注残高が約5億円多かったことが影響し、増収増益

【売上高】(風水力)



【粗利益】(風水力)

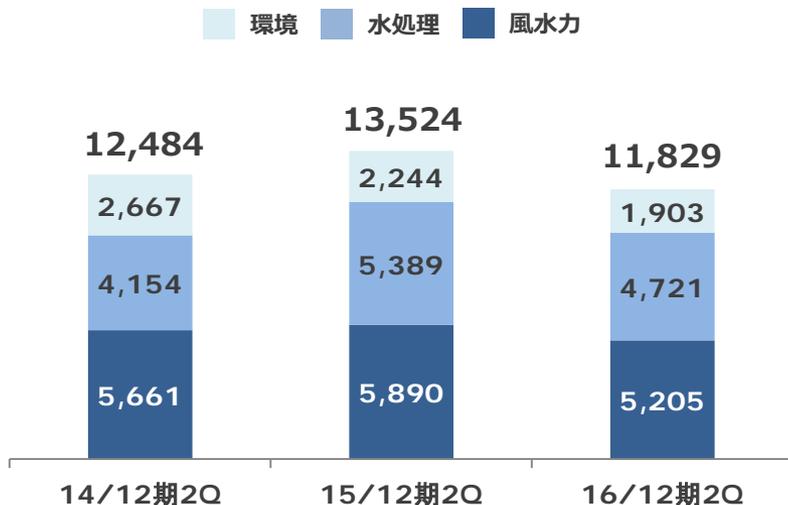


受注高・売上高・受注残高・粗利益の推移

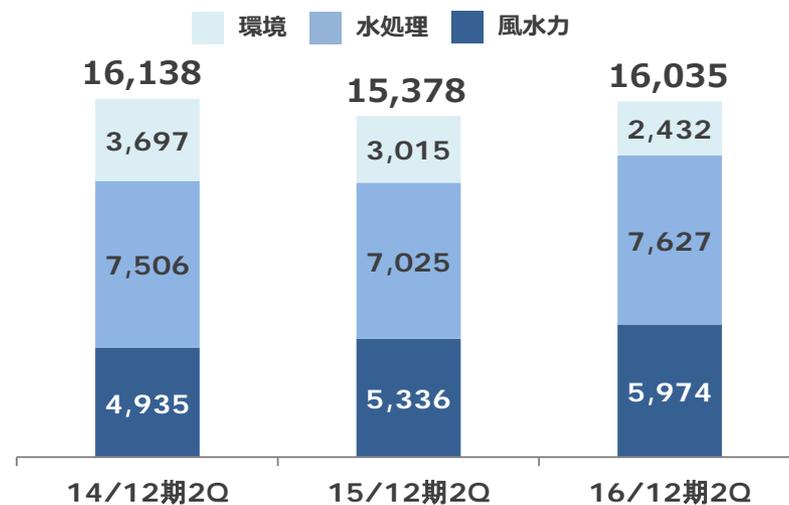


(単位：百万円)

【受注高の推移】



【売上高の推移】



【受注残高の推移】



【粗利益の推移】



2016年12月期 通期事業計画



- ◆ 売上高は期中の受注により増加
- ◆ 粗利益は引き続き高い粗利益率水準を維持し増加
- ◆ 販管費は研究開発費及び人件費に起因し増加
- ◆ 営業利益は若干の減少

	15/12月期 実績		16/12月期 計画		前期比	
	(百万円)	構成比 (%)		構成比 (%)	増減率 (%)	増減額
受 注 高	27,342	-	28,500	-	+4.2	+1,157
売 上 高	26,994	100.0	28,000	100.0	+3.7	+1,005
粗 利 益	6,655	24.7	6,820	24.4	+2.5	+164
販 管 費	5,237	19.4	5,460	19.5	+4.2	+222
営 業 利 益	1,417	5.3	1,360	4.9	▲4.1	▲58
経 常 利 益	1,511	5.6	1,450	5.2	▲4.1	▲62
当 期 純 利 益	970	3.6	930	3.3	▲4.2	▲41
1 株 あ た り 配 当 金	45円	-	45円	-	-	-

計画の前提条件（セグメント別計画）

環境関連（メーカー事業）計画

- 受注高
 - 計測、省エネプロワ関連を中心に回復
- 売上高
 - 期首受注残高の減少を期中受注増により補い増加

(百万円)	15/12月期	16/12月期 計画	前期比		
			構成比 (%)	増減率 (%)	増減額
受注高	4,668	5,500	-	+17.8	+831
売上高	5,476	5,500	100.0	+0.4	+23
粗利益	1,844	1,920	34.9	+4.1	+75

水処理関連（エンジニアリング事業）計画

- 受注高
 - 復興需要、上下水道設備の更新は安定的に推移
- 売上高
 - 期首受注残高の増加に伴い、売上高も増加

(百万円)	15/12月期	16/12月期 計画	前期比		
			構成比 (%)	増減率 (%)	増減額
受注高	12,061	12,000	-	▲0.5	▲62
売上高	11,355	12,000	100.0	+5.7	+644
粗利益	2,919	3,000	25.0	+2.8	+80

風水力冷熱機器等関連（商社事業）計画

- 受注高
 - 都市再開発、オリンピック関連需要等が追い風
 - 既存設備の取り替え・更新需要が継続
- 売上高
 - 期首受注残高増加に伴い売上高も増加

(百万円)	15/12月期	16/12月期 計画	前期比		
			構成比 (%)	増減率 (%)	増減額
受注高	10,612	11,000	-	+3.7	+387
売上高	10,163	10,500	100.0	+3.3	+336
粗利益	1,891	1,900	18.1	+0.5	+8

粗利益

原価低減等の取り組み継続により前期水準の利益率を維持し、増加

販管費

研究開発費（前期比+1.1億円）及び人件費等の増加を計画

営業利益

若干の減少

外部環境

- ◆ 少子高齢化
- ◆ 財政逼迫
- ◆ 国土強靱化政策
- ◆ 社会資本老朽化
- ◆ 異常気象・災害多発
- ◆ 東京オリンピック開催
- ◆ 省エネ意識の高まり
- ◆ TPP
- ◆ 観光立国推進
- ◆ マイナス金利導入

需要動向

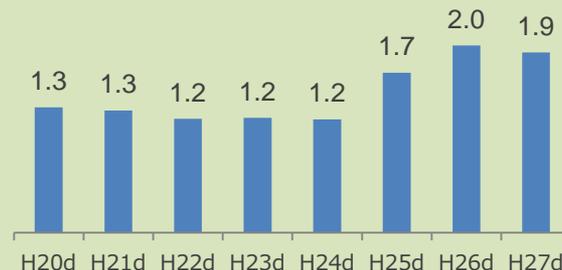
上下水道分野

- ◆ 1950年代から急ピッチで整備が進行
- ◆ 老朽化が進み、更新需要が増加
- ◆ 財政問題から効率化を推進

<拡大分野>

- 設備更新
- 維持管理
- 運転管理
- 省エネ
- 創エネ
- 効率化

《建設工事請負契約額の推移》(兆円)



※数字は「上水道事業用施設工事」と「下水道工事」の合計

出典：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」より当社作成

建築設備分野

- ◆ 建設投資拡大
- ◆ 潤沢な資金により再開発が活発化

<拡大分野>

- 再開発
- 設備更新
- 省エネ
- 創エネ

《建設工事受注高の推移》(兆円)



出典：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」より当社作成

メインテーマ

コアビジネス領域における成長基盤の確立

1 自社製品を核とした収益基盤の拡大（環境関連）

- ◆ 省エネをテーマとした戦略製品の拡販
- ◆ メンテナンス・サービス体制の強化
- ◆ 新製品の開発

2 販売エリアの拡大と営業強化（水処理関連）

- ◆ 西日本エリアでの営業基盤の確保
- ◆ 復興・防災需要の取り込み

3 拡大する建設需要の取り込み（風水力冷熱機器等関連）

- ◆ 再開発・五輪関連需要へのアプローチ
- ◆ 取扱製品の拡充

自社製品を核とした収益基盤の拡大

1. 省エネをテーマとした戦略製品の拡販

省エネブロウ

<製品概要>

- ・下水・工場排水処理等で使用される送風機（ブロウ）
- ・従来製品より小型・高効率で、30%の省エネが可能



<期初時点の認識と戦略>

- ◆ 前期は内製化比率を高めた新型ブロウを積極的にPR
- ◆ 全国的なニーズがある事は確認できたが、公共受注に至るには時間を要する
- ◆ 今期は更新が予定されている処理場へ集中的にアプローチ
- ◆ 内製化比率を高めたブロウの更なる充実強化のため、研究開発費1.1億円を投入



<上期までの状況と下期以降の見通し>

- ◆ 徐々に認知度が向上
下期に公共マーケットで複数台受注の見込
- ◆ 民間向けは競争が熾烈。コストダウン、メンテナンスの付加価値を付けた販売方法の確立により巻き返しを図る
- ◆ 研究開発は下期に本格実施の予定

生物脱硫装置

<製品概要>

- ・バイオガス施設の付帯設備
- ・従来比でランニングコストを80%削減可能



<期初時点の認識と戦略>

- ◆ 性能面においては高評価を得ているが、新技術のため、市場浸透には時間を要する
- ◆ 装置の認知度は高まっており、引き合い増加
- ◆ 実証実験によるデータを元に営業を継続



<上期までの状況と下期以降の見通し>

- ◆ 高濃度脱臭（硫化水素除去）用途で
上期に1件受注。飲料メーカー中心に水平展開を図る
- ◆ バイオガス施設等の建設を手掛ける、
嫌気処理プラントメーカーと販売契約を締結
- ◆ 硫化水素除去に加え、別の不純物（シロキサン）を除去する
新たな効果が示されたため、除去性能を確認中

セグメント別戦略 ～環境関連～

自社製品を核とした収益基盤の拡大

2. メンテナンス・サービス体制の強化

- ◆ 更新・メンテナンス需要の掘り起こしを目的に、複数製品のメンテナンス担当を一つの組織に集約
- ◆ IoTを活用したメンテナンスサポートサービスを検討中
- ◆ 脱臭剤の拡販に向け、再生利用研究に着手



省エネブロウ



ボエフ脱臭剤



排水処理設備

3. 新製品の開発

- ◆ 既存事業領域と周辺領域を中心に製品開発を継続

現在開発中の分野

- ・食品衛生
- ・水処理
- ・脱臭
- ・省エネ空調 等

★新製品「オゾンガス消毒器」

- ・医療機器として認められたオゾンガス消毒器（国内初）
- ・今年2月に発売
- ・東京消防庁向けに実績（用途：救急車内の殺菌等）
- ・消防向けの水平展開を軸に医療、介護、保育、宿泊施設、食品、水処理等へ幅広く営業を展開



オゾンガス消毒器
MAC-1000

セグメント別戦略 ～水処理関連～

販売エリアの拡大と営業強化

1. 西日本エリアでの営業基盤の確保

<背景>

- ◆ これまでは東日本（静岡以東）を中心に営業を展開
- ◆ 更新案件は全国で継続需要が見込める

<当社の取り組み>

- ◆ 人員配置、組織体制の強化
 - ・エリア制を導入し、人員配置を流動化
 - ・中部営業所を支社へ昇格
 - ・九州地区に新拠点を開設 等
- ◆ 省エネプロフ、脱臭製品などの提案営業強化
- ◆ 地場で実績を有する協力会社の開拓



<実績と見通し>

- ◆ 過去に実績の乏しい地域での受注が徐々に増加
前期の関西、九州地区に続き、中部、四国地区でも大型案件を受注
- ◆ 中小規模案件の積み上げによる実績作り



2. 復興・防災需要の取り込み

<背景>

- ◆ 宮城、福島等で復興案件が継続
- ◆ 東日本大震災やゲリラ豪雨の多発を受けた防災意識の高まり

<当社の取り組み>

- ◆ 東北復興案件へのアプローチを継続
- ◆ ゲリラ豪雨対策案件で実績、大都市圏で継続する需要確保へ



<実績と見通し>

- ◆ 東北地域では継続して案件を確保
- ◆ 首都圏を中心に大規模ゲリラ豪雨対策施設需要が継続
⇒上期に豪雨対策案件を複数件受注

セグメント別戦略 ～風水力冷熱機器等関連～

拡大する建設需要の取り込み

1. 再開発・五輪関連需要へのアプローチ

<現状認識と今後の展開>

- ◆ 活況な再開発案件へのアプローチ継続
- ◆ 競技施設は来期以降に本格化
- ◆ 訪日客増加により宿泊施設・観光施設整備も増加傾向



ポンプ



ファン（送風機）

2. 取扱製品の拡充

<現状認識と今後の展開>

- ◆ 新規取扱品の実績は拡大傾向
- ◆ 多様化するニーズに対応し、積極的に扱い品を拡充



冷却塔



ターボ冷凍機

首都圏で今後予定されている再開発

- 2016年 …豊洲新市場、渋谷宮下町、紀尾井町
- 2017年 …渋谷駅南街区、西品川1丁目地区、新日比谷プロジェクト
- 2018年 …丸の内3-2計画、道玄坂街区、大手町2丁目地区
- 2019年 …春日・後楽園駅前、渋谷駅地区駅街区、四ツ谷駅前

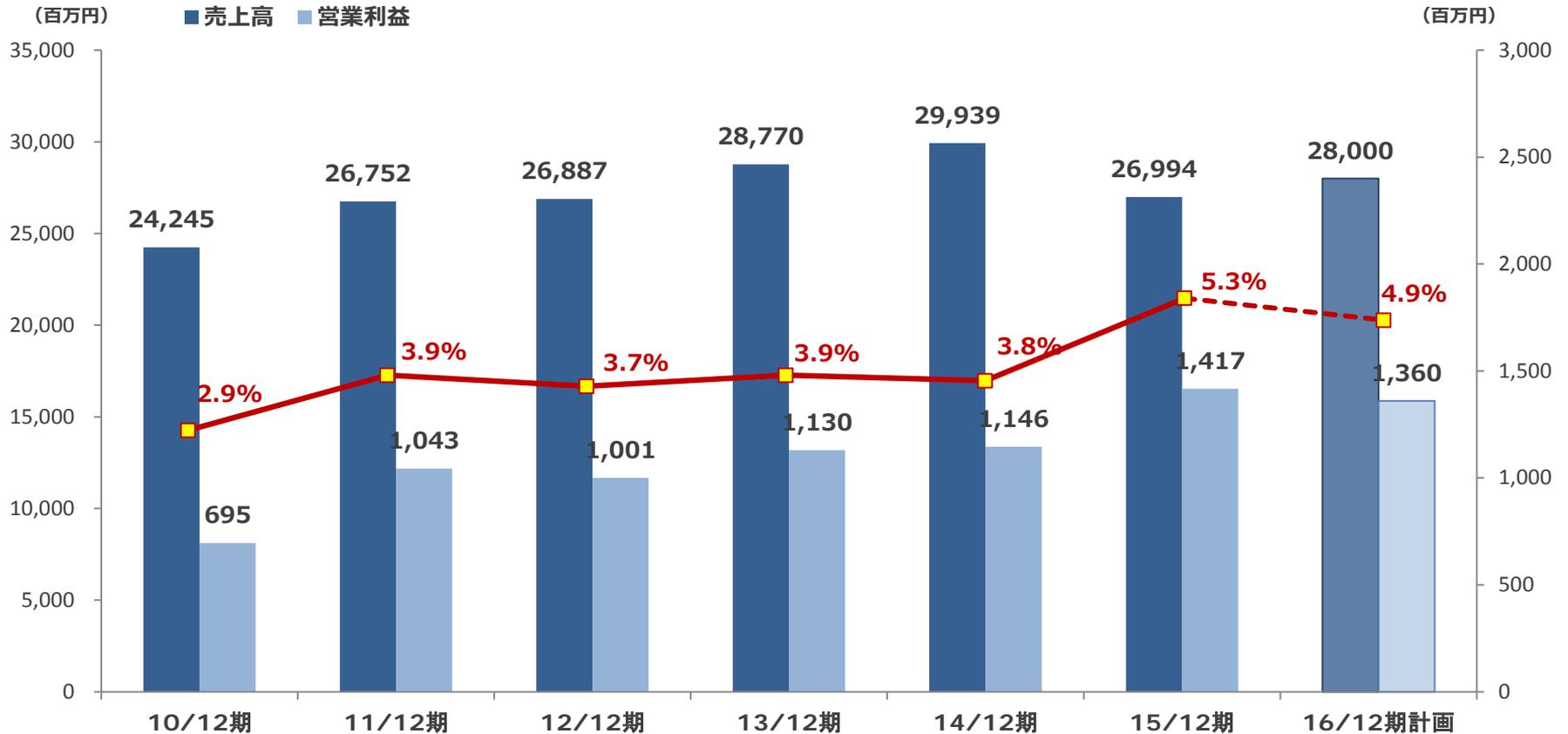


豊洲市場 水産仲卸売場棟 建設工事写真（H27年12月）

通期業績推移と目指すべき方向性

目指すべき方向性

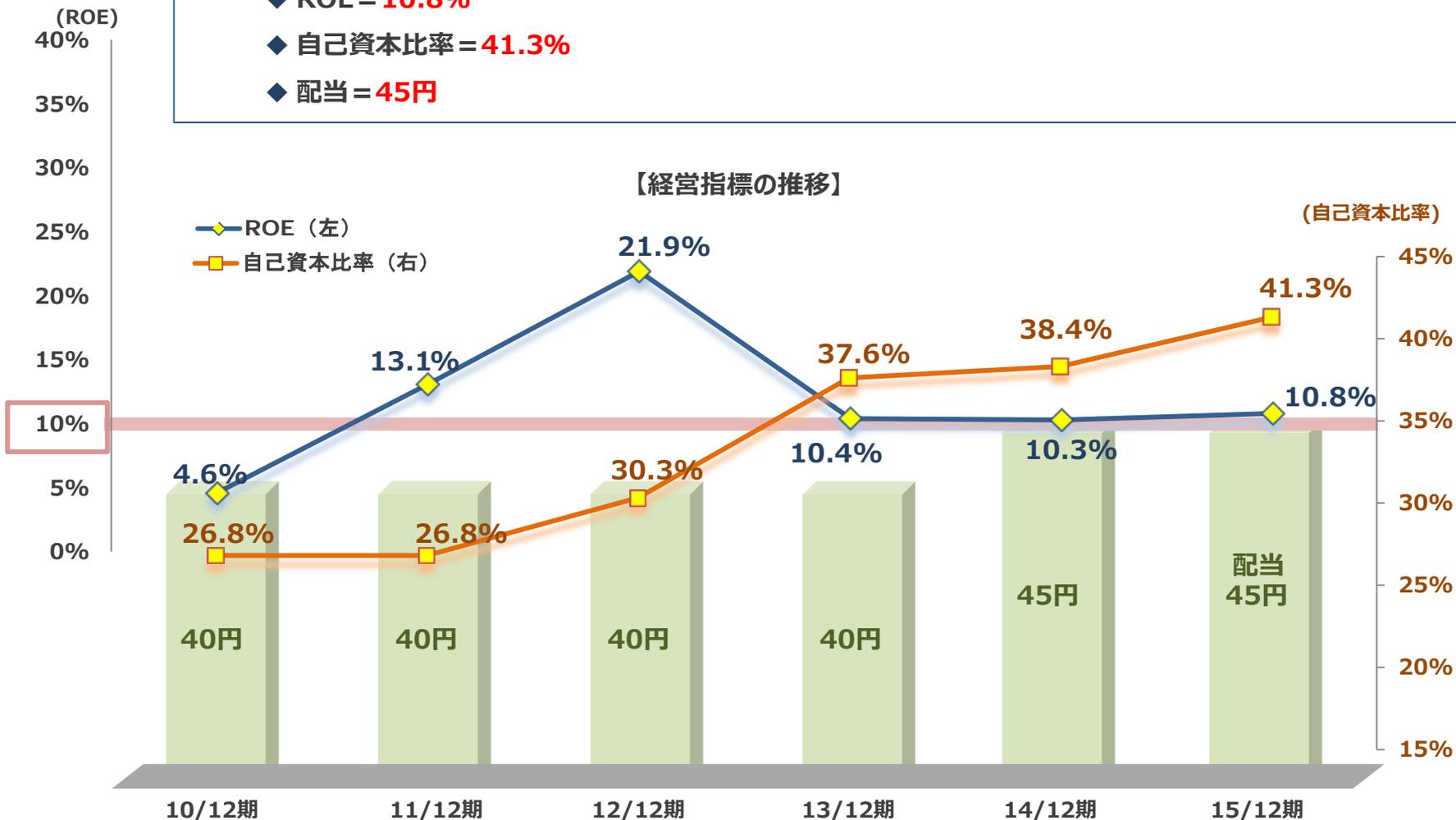
- ◆ 営業利益率 = **5%以上** (15/12月期現在5.3%)
- ◆ 環境関連 (メーカー事業) の粗利益構成比率 = **50%以上** (15/12月期現在27.7%)



15/12月期実績

- ◆ ROE = **10.8%**
- ◆ 自己資本比率 = **41.3%**
- ◆ 配当 = **45円**

【経営指標の推移】



<参考資料> セグメント別 業績推移 (上期)

(百万円)	第75期 上期		第76期 上期		第77期 上期		第78期 上期		
	13/12月期 2Q		14/12月期 2Q		15/12月期 2Q		16/12月期 2Q		
	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	
受注高	計測	390	△22.0%	394	+1.1%	473	+20.0%	440	△7.0%
	ボエフ脱臭	878	△9.0%	615	△30.0%	524	△14.8%	444	△15.3%
	省エネ・水資源	583	△61.3%	619	+6.1%	722	+16.7%	406	△43.7%
	その他	1,068	△17.9%	1,039	△2.7%	524	△49.6%	614	+17.1%
	環境関連 (メーカー)	2,921	△31.7%	2,667	△8.7%	2,244	△15.9%	1,903	△15.1%
	水処理関連 (エンジニアリング)	3,379	△1.7%	4,154	+22.9%	5,389	+29.7%	4,721	△12.4%
	風水力冷熱機器等関連 (商社)	5,204	△17.6%	5,661	+8.8%	5,890	+4.0%	5,205	△11.6%
	連結 合計	11,505	△18.0%	12,484	+8.5%	13,524	+8.3%	11,829	△12.5%
売上高	計測	432	+12.8%	368	△14.9%	458	+24.6%	506	+10.5%
	ボエフ脱臭	811	△10.6%	658	△18.9%	840	+27.6%	569	△32.3%
	省エネ・水資源	1,218	△33.8%	1,666	+36.8%	1,182	△29.0%	849	△28.1%
	その他	1,979	+50.8%	1,006	△49.2%	535	△46.8%	508	△5.0%
	環境関連 (メーカー)	4,442	+0.0%	3,697	△16.8%	3,015	△18.4%	2,432	△19.3%
	水処理関連 (エンジニアリング)	5,669	+11.2%	7,506	+32.4%	7,025	△6.4%	7,627	+8.6%
	風水力冷熱機器等関連 (商社)	5,621	+1.2%	4,935	△12.2%	5,336	+8.1%	5,974	+12.0%
	連結 合計	15,734	+4.2%	16,138	+2.6%	15,378	△4.7%	16,035	+4.3%
粗利益	環境関連 (メーカー)	1,244	△20.7%	1,151	△7.5%	1,015	△11.8%	945	△6.9%
	水処理関連 (エンジニアリング)	1,269	+5.5%	1,544	+21.7%	1,874	+21.4%	1,798	△4.1%
	風水力冷熱機器等関連 (商社)	906	△3.1%	860	△5.1%	996	+15.8%	1,118	+12.3%
	連結 合計	3,419	△7.8%	3,556	+4.0%	3,885	+9.3%	3,861	△0.6%
販管費	2,578	△0.1%	2,658	+3.1%	2,547	△4.2%	2,626	+3.1%	
営業利益	841	△25.4%	898	+6.8%	1,338	+49.0%	1,235	△7.7%	
営業外収益	166		62		107		100		
営業外費用	58		37		37		36		
経常利益	950	△18.6%	922	△2.9%	1,412	+53.1%	1,299	△8.0%	
特別利益	0		-		-		-		
特別損失	84		17		1		-		
税引前利益	865	△26.0%	905	+4.6%	1,406	+55.4%	1,299	△7.6%	
四半期純利益	518	△28.1%	564	+8.9%	948	+68.1%	896	△5.5%	

<参考資料> セグメント別 業績推移 (通期)

(百万円)		第7 5期		第7 6期		第7 7期		第7 8期	
		13/12月期		14/12月期		15/12月期		16/12月期	
		実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	計画	前期比
受注高	計測	865	△7.3%	883	+2.1%	1,003	+13.6%	1,000	△0.2%
	ボエフ脱臭	1,628	△13.6%	1,702	+4.5%	1,152	△32.3%	1,500	+30.1%
	省エネ・水資源	3,402	+40.0%	1,437	△57.8%	1,371	△4.6%	1,700	+22.8%
	その他	2,137	△46.2%	1,750	△18.1%	1,140	△34.9%	1,300	+13.8%
	環境関連 (メーカー)	8,034	△12.9%	5,773	△28.1%	4,668	△19.1%	5,500	+17.5%
	水処理関連 (エンジニアリング)	14,345	+48.8%	11,013	△23.2%	12,061	+9.5%	12,000	△0.4%
	風水力冷熱機器等関連 (商社)	9,746	△15.8%	10,936	+12.2%	10,612	△3.0%	11,000	+3.7%
	連結 合計	32,126	+5.5%	27,723	△13.7%	27,342	△1.4%	28,500	+4.2%
売上高	計測	1,042	+15.5%	858	△17.7%	965	+12.5%	1,000	+3.6%
	ボエフ脱臭	1,768	△6.2%	1,462	△17.3%	1,600	+9.5%	1,700	+6.2%
	省エネ・水資源	2,163	△16.3%	3,015	+39.4%	1,687	△44.0%	1,740	+3.1%
	その他	3,676	+35.2%	1,695	△53.9%	1,223	△27.8%	1,060	△13.3%
	環境関連 (メーカー)	8,650	+6.9%	7,032	△18.7%	5,476	△22.1%	5,500	+0.4%
	水処理関連 (エンジニアリング)	9,700	+23.0%	12,460	+28.5%	11,355	△8.9%	12,000	+5.7%
	風水力冷熱機器等関連 (商社)	10,418	△4.5%	10,446	+0.3%	10,163	△2.7%	10,500	+3.3%
	連結 合計	28,770	+7.0%	29,939	+4.1%	26,994	△9.8%	28,000	+3.7%
粗利益	環境関連 (メーカー)	2,615	△3.8%	2,170	△17.0%	1,844	△15.0%	1,920	+4.1%
	水処理関連 (エンジニアリング)	2,091	+20.9%	2,610	+24.8%	2,919	+11.8%	3,000	+2.6%
	風水力冷熱機器等関連 (商社)	1,728	△2.9%	1,728	+0.0%	1,891	+9.4%	1,900	+0.5%
	連結 合計	6,435	+3.3%	6,509	+1.2%	6,655	+2.2%	6,820	+2.5%
販管費	5,305	+1.5%	5,362	+1.1%	5,237	△2.3%	5,460	+4.3%	
営業利益	1,130	+12.9%	1,146	+1.4%	1,417	+23.6%	1,360	△4.1%	
営業外収益	243		142		204		160		
営業外費用	159		87		110		70		
経常利益	1,213	+18.1%	1,201	△1.0%	1,511	+25.8%	1,450	△4.0%	
特別利益	173		190		1		-		
特別損失	84		23		1		-		
税引前利益	1,302	+29.0%	1,368	+5.1%	1,511	+10.5%	1,450	△4.1%	
当期純利益	722	△38.8%	848	+17.5%	970	+14.4%	930	△4.1%	



総合企画室 TEL 03-5565-2885

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。